

れる程度の火映が時々観測されている。

南岳山頂火口では、3月11日、18日及び4月28日にごく小規模な噴火が発生した。

島内の DOAS (紫外線差分吸収分光計) を用いたトラバース法による二酸化硫黄放出量は、一日あたり 200～700 トンで経過していたが、4月3日以降の観測では一日あたり 1,500～3,000 トンに増加している。

火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過している。

国土地理院の GPS 連続観測では、始良カルデラ (鹿児島湾奥部) の地下深部へのマグマ注入による膨張が続いている。

薩摩硫黄島 (30°47'35"N, 130°18'19"E (硫黄岳))

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は依然としてやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。発生した地震の多くが B 型地震で、A 型地震も時々発生した。いずれも震源は硫黄岳山頂火口直下と推定される。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

諏訪之瀬島 (29°38'18"N, 129°42'50"E (御岳))

爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火も発生した。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

(お知らせ) 最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

(文責: 気象庁地震火山部火山課 加藤幸司)

○教員の公募について

【東京工業大学火山流体研究センター】

1. 公募人員: 教授または准教授 1名

2. 公募分野: 火山学

ただし、以下の4つの条件をすべて満たす必要があります。

- (1) フィールドワークに基づいて、火山学の研究を、世界最先端レベルで推進することができること。
- (2) 全国の火山噴火予知関連大学のネットワーク拠点(火山・地殻流体研究拠点)として、火山噴火予知研究を推進することができること。
- (3) 化学専攻あるいは地球惑星科学専攻に所属する教

員と協力して、学生および大学院生の教育・研究指導を積極的に実施できること。

(4) 教授の場合には、草津白根火山観測所の運営を行うこと。

3. 応募資格: 博士の学位を有する方

4. 着任時期: 決定後できるだけ早い時期

5. 提出書類:

- (1) 履歴書 (高校卒業からの学歴および職歴)
- (2) これまでの研究業績の概要 (2000 字程度)
- (3) 業績・実績リスト (査読論文とそれ以外の総説、著書、学生・院生の指導実績、学会活動、外部資金獲得実績、関連諸団体の委員、その他に分類すること)
- (4) 主要論文別刷 (コピー可) 5 編以内
- (5) 今後の研究計画 (2000 字程度)
- (6) 今後の教育計画 (2000 字程度)
- (7) 火山流体研究センターおよび草津白根火山観測所の運営に関する抱負 (2000 字以内) (ただし教授に応募する場合のみ必要)
- (8) 申請者に関して意見を伺える者 4 名 (国内 2 名、海外 2 名) の氏名、住所、電子メールアドレス

6. 応募の締切: 平成 20 年 7 月 18 日 (金) 必着

7. 応募書類提出先:

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-75

東京工業大学 理学系事務係長宛

封筒の表に「火山流体研究センター 教授応募 (あるいは准教授応募) 書類在中」と朱書きし、郵便書留で送付してください。なお、提出された書類の返却は致しません。

8. 問い合わせ先:

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H84

東京工業大学 火山流体研究センター 小川康雄

電話 03-5734-2639

電子メール oga@ksvo.titech.ac.jp

なお、火山流体研究センターは、国の火山噴火予知研究計画を推進するために設置された施設で、平成 21 年度からは全国の地震・火山噴火予知関連大学のネットワークにおいて“火山・地殻流体研究拠点”となることが決定しています。現在、火山流体研究センターには、渋谷一彦教授 (センター長併任, 化学専攻), 小川康雄教授 (草津白根火山観測所長, 火山物理学), 大場武准教授 (火山化学), 野上健治准教授 (火山化学) が在職しております。詳しくは WEB をご覧ください。

<http://www.ksvo.titech.ac.jp/index.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 5 月 22 日送信しました)

○第 29 回女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」の推薦の募集

【女性科学者に明るい未来をの会】

- 1) 対 象: 推薦締切日に 50 才未満で, 自然科学の分野で, 顕著な研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容: 賞状, 副賞として賞金 30 万円, 1 件 (1 名)
- 3) 応募方法: 所定の用紙 (当会のホームページからダウンロード) に, 推薦者 (個人・団体, 自薦も可)・受賞候補者の略歴, 推薦対象となる研究題目・推薦理由 (800 字程度), 及び主な業績リスト (指定は 1 頁です. やむを得ない場合でも追加は 1 頁までです) を記入して, 主な論文別刷 10 編程度 (2 部ずつ, コピーも可) を添え, 5) の推薦書類送付先までお送り下さい.
- 4) 締切日: 2008 年 11 月 30 日
- 5) 推薦書類送付先:

〒247-0022 横浜市栄区庄戸 5-14-3

女性科学者に明るい未来をの会 (封筒には, 「猿橋賞推薦書類」と明記して下さい. 書類は, 猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます. 書

類は返却いたしませんのでご了承下さい)

なお, この件についての問い合わせは, 下記に電子メールでお願いいたします.

saruhashi2008@saruhashi.net

(上記のお知らせは火山学会ホームページに 6 月 26 日掲載されました)

○平成 21 年度研究船利用公募課題の募集について

【独立行政法人海洋研究開発機構】

独立行政法人海洋研究開発機構では, 平成 20 年に 2 月に制定した「海と地球の研究 5 ケ年指針」に基づく研究の推進を行うため, 所有する研究船「みらい」, 「なつしま」, 「よこすか」, 「かいいい」等を利用する課題を募集いたします.

募集期間は平成 20 年 6 月 26 日～7 月 22 日までの約 1 ケ月間です.

詳しくはウェブサイト (http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/2009_koubo/) をご覧ください.

(上記のお知らせは火山学会ホームページに 6 月 26 日掲載されました)